

製品名: CDK5 活性化因子結合 C42 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08565**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CDK5RAP1
別名	CDK5RAP1; C20orf34; CGI-05; HSPC167; CDK5 regulatory subunit-associated protein 1; CDK5 activator-binding protein C42
遺伝子 ID	51654.0
SwissProt ID	Q96SZ6
免疫原	抗血清はヒト CDK5RAP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

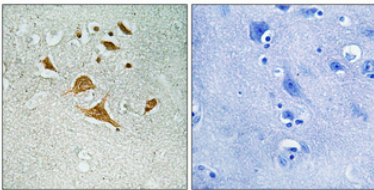
この遺伝子は、サイクリン依存性キナーゼ 5 の活性調節因子をコードする。このタンパク質は、メチルチオ基を付加することで RNA

を修飾することが報告されており、RNA メチルチオトランスフェラーゼとしての機能とサイクリン依存性キナーゼ 5 の活性阻害能の両方を持つ可能性がある。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2013 年 5 月],補因子: 2つの 4Fe-4S クラスターに結合する。1つのクラスターは、3つのシステインと交換可能な S-アデノシル-L-メチオニンと配位する。機能: CDK5R1 による CDK5 の活性化を特異的に阻害する。配列注意: グルタミン酸として翻訳される。類似性: メチルチオトランスフェラーゼファミリーに属する。MiaB サブファミリー。類似性: MTTase N 末端ドメインを 1 つ含む。類似性: TRAM ドメインを 1 つ含む。サブユニット: CDK5R1 (p35 型) と相互作用する。CDK5RAP1、CDK5RAP2、および CDK5RAP3 は CDK5R1 と競合的に結合し、CDK5R1 および CDK5 と複合体を形成する。組織特異性: 広く発現している。心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓で発現する。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。